

《会員の広場》

「年のとらない老人クラブ」

蒲郡栄宝会 吉見 明次

顧(かえり)みますと、日本の20世紀は、戦争50年、復興50年、バブルの崩壊で痛い思いをして終わりを告げた。紀元2001年(平成13年)、21世紀の幕があけた。これから100年は、心の世紀にしよう、誓いを立てたものです。が、計らずも2011年3月11日、東日本大震災、そして連鎖して原発事故に及んで壊滅的です。

社会は人口減少時代になり、少子化が加速して、シニアの戦力が救いになって大きく活用されています。今、65歳頃から、登山、マラソン、冒険、歌手などと、本格的に生涯現役を目指す人が増加中である。昭和の働き蜂たちは、遊びも仕事も区別をしないパワーが充分な連中である。昨年11月、蒲郡市高齢者レクリエーション大会が市民会館で開かれた。ハッと気づいたのはステージで舞踊をしている知人は、確か90歳である。腰の安定や扇を廻す手さばきなど切れ味がよく、美しかった。「ジェ・ジェ!」82歳の私が位負けして、弱音を吐くなんて。私事、クラブ会員として11年目になりました。本年は、待望の蒲郡公民館が新築竣工にな

ります。新しい大ホールで盛り沢山の行事を楽しみにしています。今年のモットーは、やはり「アンチ・エイジング(抗加齢・抗老化)」です。寿楽荘などの舞台で新曲を歌う。これが一番の良い薬だと思います。

「私の生きがい」

形原長寿会 田中 増夫

私の唯一の趣味が、絵を描くことである。

四十年程前から、水墨画の好きな人の集まりから、サークルができ、そこで講師を務める様になった。

市内でいくつかの教室が立ち上がり、その都度講師の依頼を受けるようになった。大勢の人とのふれ合いが、私にとって大きな宝です。そのうちの教室の一つで形原公民館の絵画教室が、三十周年記念展を開くことができ、大勢の皆さまにご来場を頂き、心温まるメッセージなど、深く感謝いたしております。今回は展示方法を変えて、色彩のある個展空間の集合と言う、ユニークな会場づくりを試みました。会員の皆様にとって、今年もすばらしい年でありますように、心からお祈り致します。



「やすら"木"の家」 心がほっとする
木の家を創っています

小林住建

有限会社 小林住建 〒443-0013 蒲郡市大塚町笹子127
TEL 0533-59-8071 FAX 0533-59-8084

ホームページは
「蒲郡 小林住建」で検索。

「数少ない郷土新聞
としての誇りをもって」

蒲郡新聞

水・土発行 新聞定価1カ月600円・1部80円(税込み)
昭和22年8月15日第三種郵便物認可

自費出版1冊から承ります。
俳句集・詩集・写真集等。

〒443-0045 蒲郡旭町9番地9
(有)蒲郡新聞社 電話・FAX (0533) 68-2684